

2008年6月18日
企画本部
建設事業本部
保全・サービス事業本部
関連事業本部

「世界をリードする高速道路システム」をめざして ～2007年度 新東名リーディングプロジェクトのとりまとめ～

NEXCO中日本は「世界をリードする高速道路システム」を構築するために、新東名リーディングプロジェクトを推進しています。この度、2007年度の新東名リーディングプロジェクト推進委員会での議論を踏まえた成果をとりまとめましたので報告します。

1. 2007年度の取組み

2007年度は「次世代道路交通部会」「先進サービス・メンテナンス部会」「新休憩施設・地域開発プロジェクト部会」や新東名夢ロード懇談会での議論を踏まえて、3回の新東名リーディングプロジェクト推進委員会を開催し、活発に議論しました。

その中で、新東名の「基本コンセプト」や「目指すべき方向性」（安全・安心の実現、環境への対応、多様なライフスタイルの実現、活力ある社会の実現）を踏まえたサービスメニューを選定し、各種サービス導入への課題・効果や実現するサービスイメージ、サービスメニュー導入行程を整理しました。また、先進技術の活用・環境への積極的な配慮を盛り込んだ新たなサービスエリアのレイアウトを検討しました。（実現するサービスイメージはP6～P9、サービスメニュー導入行程はP5参照）

2. 今後の取組み

今年度は、提示された各種メニューについてその実現可能性などの具体的検討を進めていきます。また、新たなサービスエリアについては、これまでの型式やレイアウトにとられない「次世代高速道路に相応しい、地域と連携する、常に新鮮な、お客様のためのサービスエリア」を基本理念に、事業実施に向けた検討・手続きを進めます。

さらに、2009年度からは新東名静岡県内の既成区間のフィールドを使って、各種メニューの実現可能性等について実証実験を行います。

我が国が世界に誇る自動車、情報通信、建設等さまざまな分野の最先端技術を適用し、合わせて民間ノウハウを最大限活用した多様なサービスを提供して、

**人、車、道路が協働する
「世界をリードする高速道路システム」**

を構築し、地域の活性化と暮らしの向上、延いては日本全体の発展に貢献することを目指す。

新東名LP推進委員会の2007年度体制

NEXCO

新東名リーディングプロジェクト推進委員会

〔会長CEO、社長COO、総務本部長、企画本部長、建設事業本部長、保全・サービス事業本部長、関連事業本部長、経営企画部長、技術開発部長、関連事業本部副本部長、サービスエリア事業部長、事業開発部長、関係担当部長、横浜支社長、名古屋支社長〕

※ 事務局 経営企画部

次世代道路交通システム部会 (横田建設事業本部長)

- 次世代道路交通システム等の情報収集、社会的要請、市場調査、導入条件などの整理検討
- 新東名の静岡県内における試験、実験の検討
- 当社としての事業性検討

新休憩施設・地域開発プロジェクト部会 (原田関連事業本部長(常務))

- 「新規休憩施設等検討会」の結果をベースに重点プロジェクトの選定と検討
- 高速道路周辺地域を含めた開発プロジェクトの発掘
- 各種プロジェクトのFS検討

先進サービス・メンテナンス部会 (中山保全・サービス事業本部長)

- 複数ルートに係る料金施策、利用促進方策の検討
- CS向上のための先進サービスの提供の検討(交通情報の提供等)
- 高速度走行に応じた、かつ新技術開発を踏まえた安全かつ効率的な新たなメンテナンスシステムの検討



新東名夢ロード懇談会の活用

<外部構成員>

学識経験者、
(社会資本整備、情報通信、機械などの分野)
自動車会社、経済界、マスコミ



新規休憩施設等
検討会
(内部:継続)

外部機関(デベロッパー、物流会社など)との勉強会、ヒアリング



料金施策に係る実務的な勉強会(機構、本省、他社)



目指すべき方向性

NEXCO

21世紀を迎え、人口減少や少子高齢化の進展、地球環境問題の深刻化、経済のグローバル化、地域間格差の顕在化など、我が国を取り巻く社会経済情勢は大きく変化してきている。

今後、持続的な発展を図るには、こうした複雑かつ多様なテーマに的確に対応していく必要があり、以下のテーマに重点的に取り組むこととする。

- ✓ **安全・安心の実現**
- ✓ **環境への対応**
- ✓ **多様なライフスタイルの実現**
- ✓ **活力ある社会の実現**

目指すべき方向性 (目標設定)

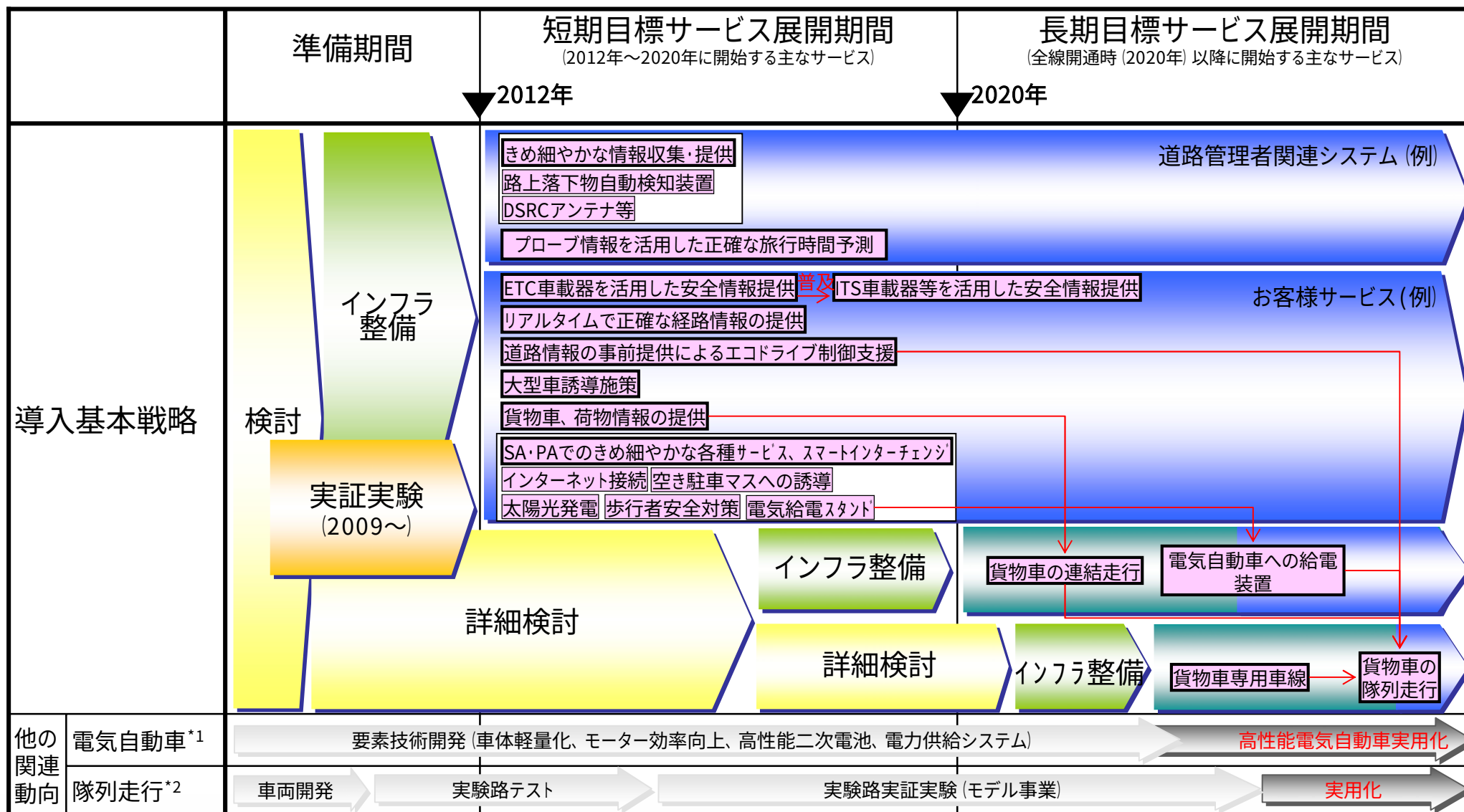
NEXCO

視点	長期目標 (注) (新東名高速道路の全線開通時 (2020年) 以降)	政府目標等		
		文書等/発表主体	目標	
			年次	内容
安全・安心の実現	- 交通事故死亡者限りなくゼロを目指す - 交通事故件数、負傷者数半減を目指す。特に、大型車に起因する悲惨な事故撲滅を目指す	- 首相演説 (2003年1月) - IT新改革戦略 (2006年1月)	2012年	10年間で交通事故死者数半減 - 道路交通に関して世界一安全な国にすることを目指す
		交通物流ルネサンス実現に向けた提言/産業競争力懇談会 (2007年4月)	2020年	交通事故死亡者限りなくゼロ
環境への配慮	二酸化炭素排出量半減を目指す	交通物流ルネサンス実現に向けた提言/産業競争力懇談会 (2007年4月)	2020年	二酸化炭素排出量半減
		首相演説「クールアース50」 (2007年5月)	2050年	
		首相演説/ダボス会議 (2008年1月)	2020年	エネルギー効率を30%改善
多様なライフスタイルの実現	- SA/PA等でのユニバーサル対応、環境保全*、情報アクセス完備**を目指す *: 太陽光発電の導入等 ** : 無線LANの全施設整備 (本線含む) 等	IT新改革戦略 (2006年1月)	2010年	- 平等な情報へのアクセス - 自律的で円滑な移動
		観光立国推進基本計画/閣議 (2007年6月)	2012年	訪日外国人旅行者数1,000万人
		日本21世紀ビジョン/経済財政諮問会議 (2005年4月)	2030年	訪日外国人旅行者数4,000万人
活力ある社会実現	- 幹線部の自動車貨物輸送コスト半減を目指す - 安定した速達性、定時性確保を目指す	交通物流ルネサンス実現に向けた提言/産業競争力懇談会 (2007年4月)	2020年	- 国際競争力のある幹線物流コストと定時性 - 定時性の確保

(注) 目標数値は、サービスの有無 (with/without) による削減比率を想定

サービスメニュー導入行程 (案)

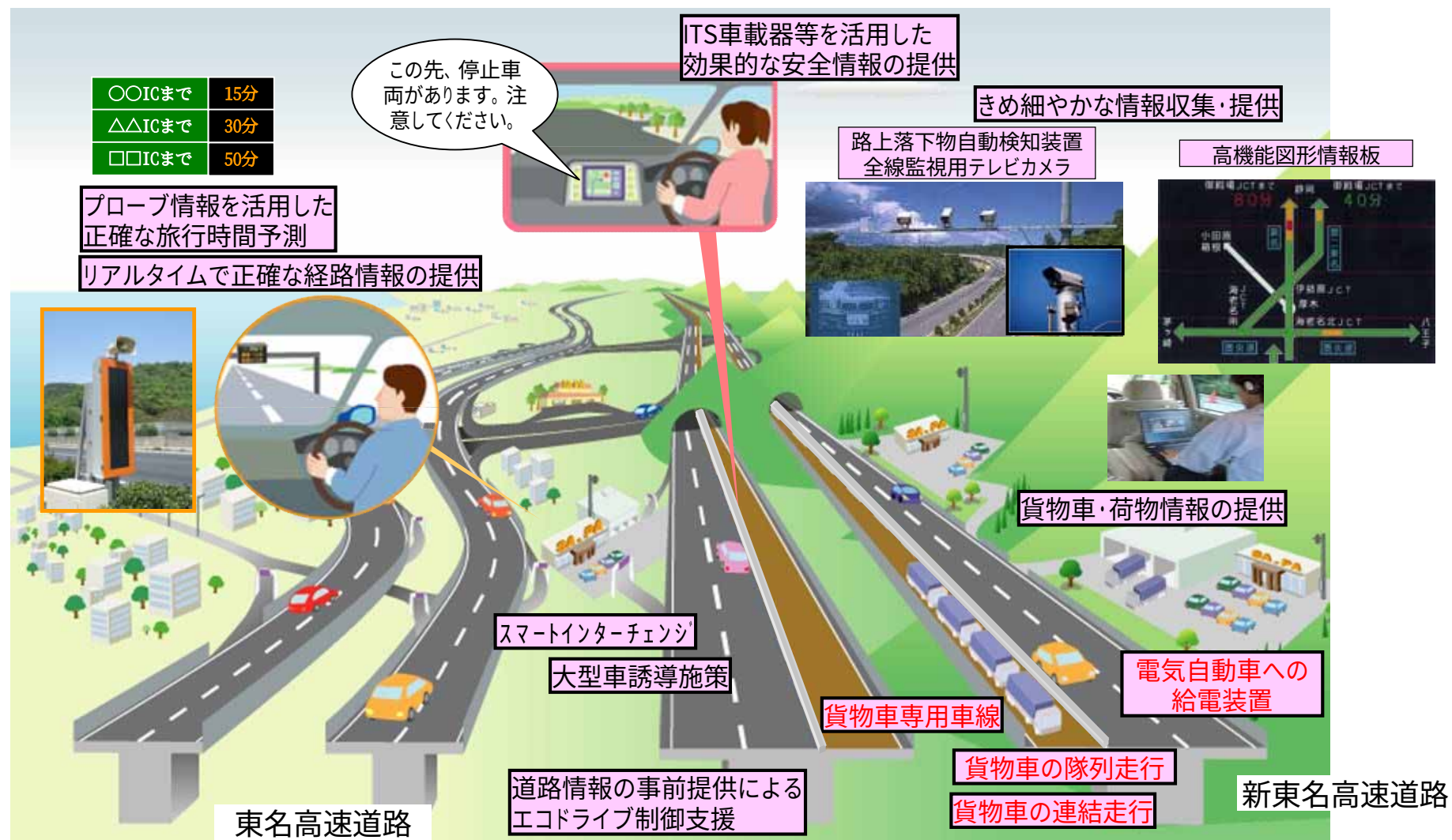
NEXCO



*1: (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略マップ2007より
 *2: 産業競争力懇談会 交通物流ルネサンス実現に向けた提言より



実現するサービスのイメージ (案) (道路)

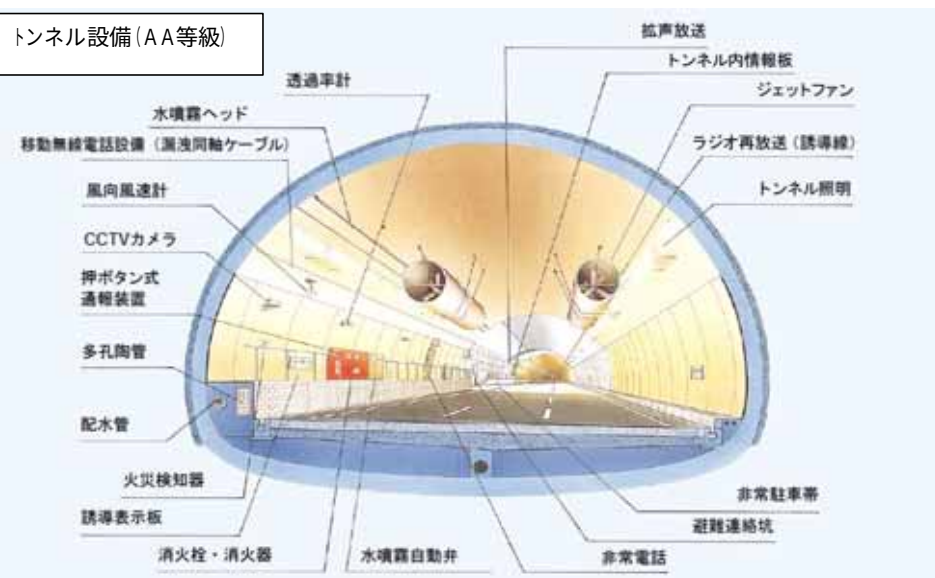


短期（全線開通時（2020年）までに開始する主なサービス）：黒字
 長期（全線開通時（2020年）以降に開始する主なサービス）：赤字

実現するサービスのイメージ (案) (トンネル)

NEXCO

トンネル設備 (AA等級)



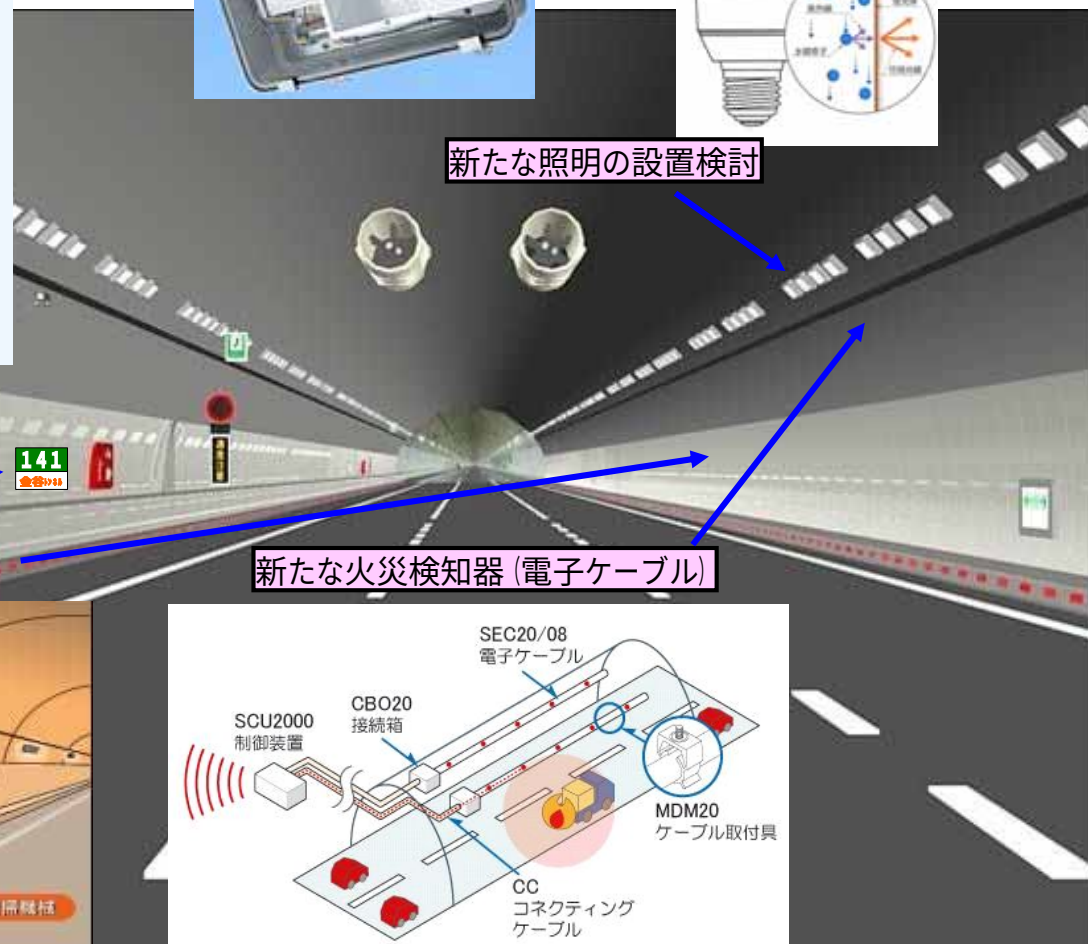
セラミックメタルハライドランプ



フィラメントなしランプ



新たな照明の設置検討



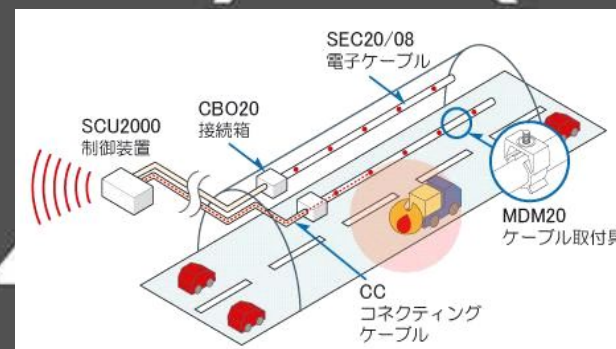
トンネル名称板の設置



自動点検ロボットの技術開発



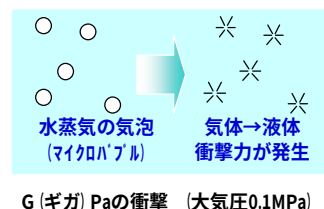
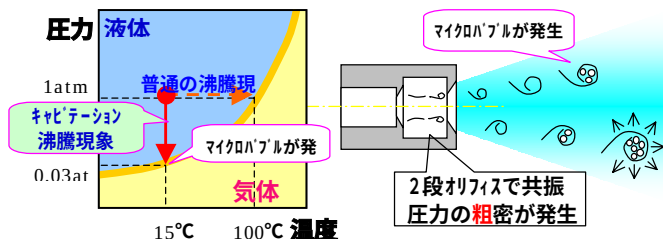
新たな火災検知器 (電子ケーブル)



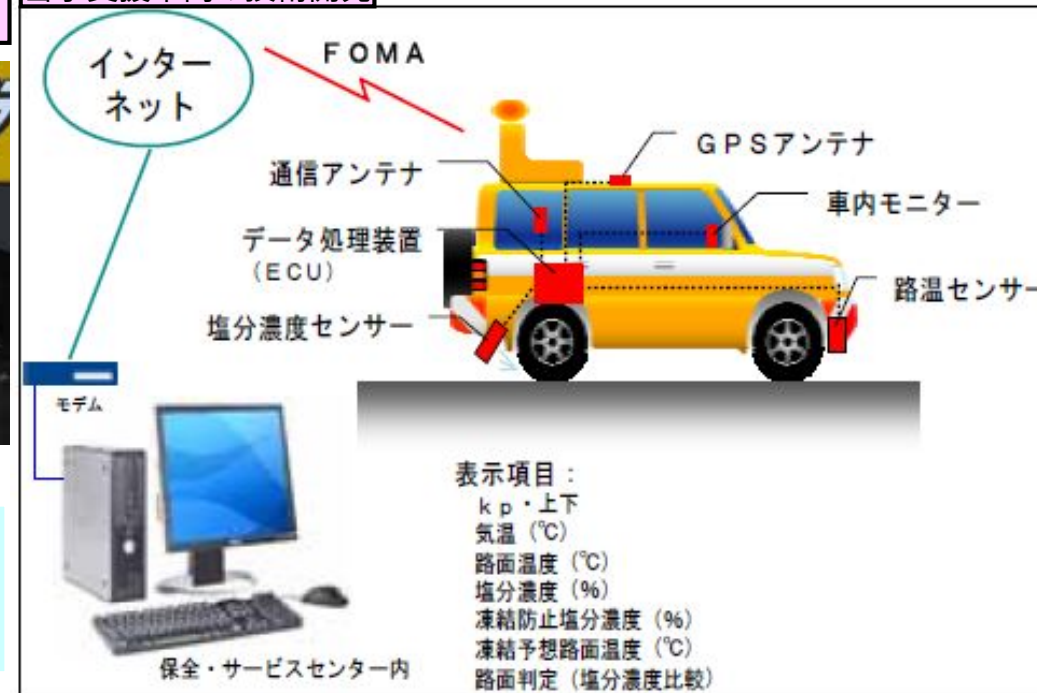
実現するサービスのイメージ (案) (維持管理車両)



ランプ清掃が時速50Kmで可能となる
キャビテーション技術の活用



雪氷支援車両の技術開発



レーザー光線を用いた点検技術の導入

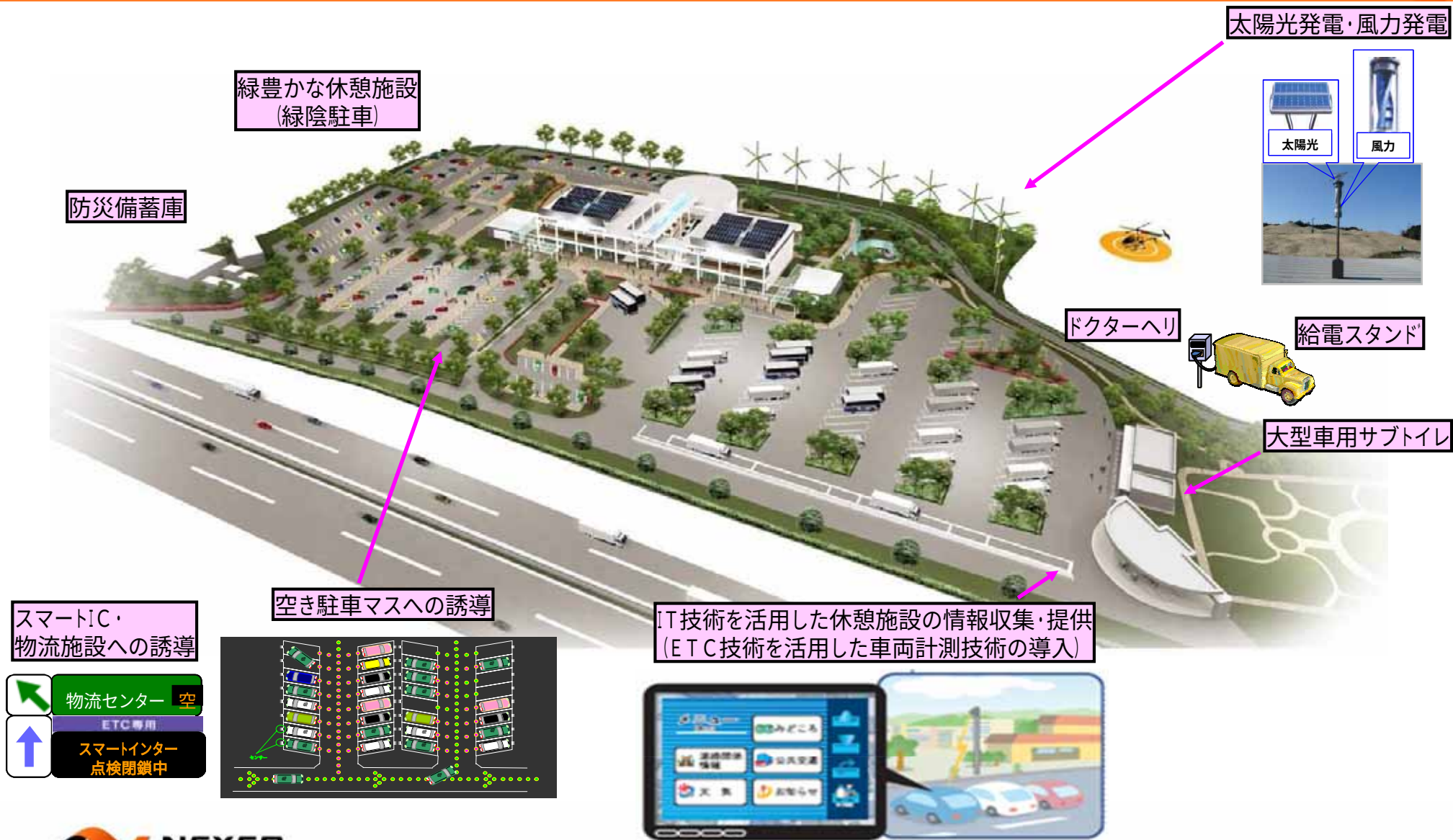


路上の落下物を自動で回収する装置の技術開発



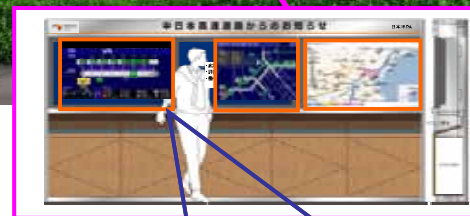
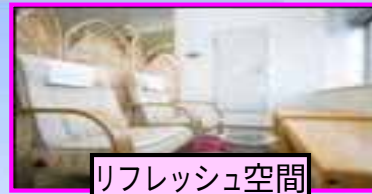
実現するサービスのイメージ (案) (駐車場)

NEXCO



実現するサービスのイメージ (案) (休憩施設)

NEXCO



(交通情報以外にも) リアルタイムな情報を提供



実現に向けての留意点

NEXCO

①安全性の確保

- 新しいシステムの実用化に向けては、実証実験等を通じ、安全性を十分検証する必要がある。

②国民及びユーザーの理解の獲得

- プロジェクトの内容や効果等を幅広くタイムリーに情報発信し、国民及びユーザーの理解を得る努力を継続する必要がある。

③多様な主体との協働

- 地域との連携や各種分野の企業、研究機関、官公庁等の多様な主体との協働に努めることが重要である。

④環境マネジメントの強化

- 二酸化炭素排出量削減などの環境負荷の低減と地球環境の向上に十分配慮したサービスの提供に努める。

⑤全国の道路ネットワークへの普及

- 現東名を始め、高速道路全体および全国の道路ネットワークへの展開による効果向上に努める。

⑥国際競争力の向上

- 陸海空のシームレスなネットワーク構築により、輸送効率の向上、輸送時間の短縮につながるサービスの提供に努める。

⑦プロジェクトの評価・事業性の確認

- しかるべき時期にプロジェクトの効果をできるだけ定量的に把握し、費用を検証して事業性を確認した上で着実に進める。

⑧継続的な改善（PDCA）

- プロジェクトは長期にわたるものであり、不断のPDCAサイクルで対応する必要がある。
- 個々のサービスメニュー、導入基本戦略、新東名高速道路の整備のあり方も含めて、より良い方向を目指していくことが重要である。

当面の取組み

NEXCO

当面の取組みとして、課題解決とシステム設計に向けて、以下のような取組みを推進。

- 実証実験の実施
- 民間企業等との協働
- 関係省庁等との連携・調整
- 物流の現状把握とサービス検討
- 対外的な情報発信の実施

